



1 近況情報

(1) 生育状況（5月17日現在）

5月上旬は、気温は平年並み、降水量はかなり少なく、日照時間は多い状況となりました。

ひやくまん穀の生育観測ほ場における生育状況は表の通りとなり、草丈はやや長く、莖数・葉齢ともに近年並の生育となっております。

場所	草丈 (cm)		莖数 (本/m ²)		葉齢 (L)	
	本年	近年	本年	近年	本年	近年
中能登平均	16.6	15.5	71.0	74.0	3.9	3.6
能登平均	15.5	15.4	78.0	73.0	3.5	3.4
県平均	16.0	15.9	78.0	73.0	3.5	3.4

(2) ひやくまん穀 PR活動

5月10日は晴天の中、中能登支部の部会員である石井昌嘉さんのたんぼで、本宮のもり幼保園の園児14名によるひやくまん穀の田植え体験を行いました。

園児たちは、ワーワー言いながら素足で田んぼに入り、最初は歩き方もわからずにとまどっていましたが、30分後にはどろんこになりながらも初めての田植えを楽しんでいました。

なお、秋には稲刈り体験も予定されております。



2 栽培管理情報

(1) 活着後は浅水管理で分けつ確保

- 1) 連休中に田植えできたほ場では、田植後は好天が続き、**田植え2～4日で順調に活着**していると思われます。
- 2) 強い分けつを確保するためには、なるべく早期に分けつ発生させる必要があり、そのため**活着後は深さ3 cm程度の浅水管理**に切り替えて下さい。
- 3) 足を踏み入れるとガスが湧いたり、藻が発生しているほ場では分けつの発生が遅れるので、用水を利用できる日を見図りながら、**計画的に田干し**を行って下さい。
- 4) 特に除草剤を入れる前日には必ず田干しを行い、**薬害を防止**して下さい。

(2) 田植え1ヶ月後頃を目安に中干しを開始

余分な分けつ発生を抑制し、**暑い夏に負けない稲体に育て上げる**ために、**中干しを適期に開始**することが**最重要**となります。

下記の目安を参考にし、**遅れず**に中干しを開始して下さい。

1) 中干し開始時期：田植え1ヶ月後頃

2) 中干開始の茎数の目安

：目標穂数（350本/㎡）の

7割（245本/㎡）に達したとき

栽植 密度	株／坪	60	70
	株／㎡	18	21
中干し 開始 茎数	本／㎡	245	245
	本／株	14	12

3 現地検討会の開催

中干し開始のタイミングやその他の栽培管理等について、下記の通り現地検討会を開催します。

6月5日（水）午前9時 JAはくい本店 横

JAやすらぎ会館「天照」西側駐車場に集合

※ 集合後、マイクロバスにて、ひやくまん穀ほ場2～3か所を巡回します。

※ 参加を希望される方は、6月4日（火）までに、JAはくい・営農部・米穀課（TEL 26-2385）までご連絡ください。